



JADPA



NPO法人日本アトピー協会

発行：NPO法人 日本アトピー協会 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-1-7日精産業ビル4階 電話:06-6204-0002 FAX:06-6204-0052
Eメール: jadpa@wing.ocn.ne.jp ホームページ: http://www.nihonatomy.join-us.jp/

CONTENTS

- ◆ アトピー他科連合⇒行ってますか? P1・P2
歯科・眼科・耳鼻科
- ◆ 歯科とアトピー P1~P3
- ◆ 眼科とアトピー P3~P4
- ◆ 耳鼻科とアトピー P4~P5
- ◆ 法人賛助企業様ご紹介 第21回 P3
- ◆ ハーイ! アトピーづき合い40年の友実です P6
アナウンサー 関根友実さん・第15回)
- ◆ ちょっとショッキング! P6
トキシック・ショック症候群って?
- ◆ ドクターインタビュー P7
- ◆ ATOPICS 「第24回 日本外来小児科学会年次集会」 P8
参加報告・東北支援関連情報・ブックレビューほか

アトピー他科連合⇒行ってますか?

歯科 ・ 眼科 ・ 耳鼻科

皮膚科に呼吸器科、はたまた皮膚科のはしこをされている方はおられないと思いますが、アトピーだから皮膚科或いは小児科を受診していればOKと思いませんか?最近アトピー治療で良く耳にする「プロアクティブ療法」*を実践するためには、自らすすでの自助努力が大切かもしれません。*「プロアクティブ療法」炎症が再発する前に一定間隔で外用薬を使う治療法。

「TOOTH」 歯科とアトピー

最近「まだまだですね」と歯科医がコメントするテレビCMがありますね。確かに歯医者さんで褒めてもらえる人は少ないかもしれませんが、小学生の頃だと集団検診と合わせ定期的に歯の健診もあって、ドクターが「Cの3!」と云っていた事を思い出します。最近では歯医者さんから「再診のお知らせ」のはがきも届きますが、やはり痛くなるまでお世話にならない方が多いのではないのでしょうか。確かに毎日、歯磨きで予防しているかもしれませんが、口腔内の衛生を考えると手洗いやうがいと同じくらいのケアなのかもしれませんね。以前からアトピーの方で金属アレルギーのある場合、歯を疑えという論調や雑誌で大々的に歯科医が取り上げられた事もありました。「歯科とアトピーの関係」は、やはり気になる所です。

* 歯の病気 *

良く考えると歯や口の中の病気ってあまり知らない様に思います。口内炎や歯槽膿漏などは、テレビCMのおかげでしょうか何となく分かっているような。そこでまず歯や口の病気について調べてみました。

◆ 歯周病

歯ぐき(歯肉)や骨(歯槽骨)が壊されて最終的には歯が抜け落ちます。唾液成分の糖タンパクで歯につくった皮膜を虫歯菌のミュータンス菌がネ

バネバとした成分でバリアをつくり棲みつきます。これを細菌性プラーク(プラーク)またはバイオフィルムと呼び、これが固まったものが歯石です。厚生省の発表では、日本人の40歳以上の約8割が歯周病だそうです。

◆ むし歯

今さらな感じですが、先程と同じミュータンス菌が食べカスの糖分をエサとして歯にくっつき同時に乳酸を作り出し、歯のエナメル質をその酸で溶かす事で虫歯となります。歯の奥底まで進行すると神経にまで及び、全身に細菌が及んでしまう場合もあります。

◆ 口臭

これも口腔の病気とされており、代表的なのが舌苔(ぜったい)です。字のとおり舌にコケが生えた様な状態となり悪臭を放ちます。舌苔は口腔内の粘膜などが剥がれ落ちて舌に白く溜り腐敗した状態です。口臭の成分は硫化化合物などで、歯ぐきを溶かし歯周病を増長します。また体内に活性酸素を増やすと云われています。反対に胃が悪いと息が臭いと良く聞きますが明確な根拠がなく、逆流性食道炎(胃食道逆流症)など一部の消化器疾患以外で口臭がするという事は無いようです。

◆ 顎関節症(あごかんせつしょう)

病名として読むと、何となく難しい病気?のようですが、口を開けたり、物を噛むとアゴの骨(ちょうど耳の前あたりにある骨)がコクッとなる、或いは周りの筋肉が痛いなどの症状を言います。圧倒的に女性の方が多く、男性の患者数の約倍以上で、特に20~30代の女性に多いようです。原因は様々で、女性ホルモンの影響や骨格の弱さなども云われていますが、個人差が大きくストレスやほほ杖、歯ぎしり、高い枕、それに受話器を肩で挟む動作なども指摘されています。

◆ 炎症・腫瘍

唇・口腔・舌・歯ぐきなどに炎症が起きることを「口内炎」と云います。その他にも「腫瘍」や「アレルギー」などもあり、様々な病状があるようです。皆さんを良く悩ませる口内炎ですが、一般的に多くみられるものはアフタ性口内炎(潰瘍性口内炎)と云い、ストレスや疲れによる免疫低下、ビタミン

患者さんからのご相談はいつでもお受けします。

症状がいっとうに改善されず長びく治療にイライラが募り先行きを悲観...ちょっと待た! 全国約450万人の方があなたと同じ悩みをかかえています。ここはみんなで「連帯」し、ささえあいましょう。日本アトピー協会をそのコア=核としてご利用ください。

電話:06-6204-0002 FAX:06-6204-0052
メール: jadpa@wing.ocn.ne.jp

お手紙は表紙タイトルの住所まで、なおご相談は出来るだけ文面にしてお願ひします。電話の場合はあらかじめ要点をメモにして手みじかにお願ひします。(ご相談は無料です。)

◆協会は法人企業各社のご賛助で運営しております。 ◆患者さんやそのご家族からのご相談は全て無料で行っております。

B2の不足も原因とされています。また「ヘルペス性口内炎(口唇ヘルペス)」や、カビ(真菌)の一種であるカンジダ菌の増殖による「カンジダ性口内炎」、金属や薬品、特定の食物による「アレルギー性口内炎」などもあります。

◆…………… 舌痛症 ……………◆

その名のとおり舌に痛みがある症状で、口の中がヒリヒリ、カーッとした痛みまたは、ビリビリした不快な感覚があります。歯並びや先程の炎症などを伴わず単純に舌に痛みがある場合とされています。重度の場合は日常生活に支障をきたす場合もある様ですが、反対に食事中の方が痛みを感じない場合もあり不安やストレスなどが関与していると考えられています。

◆…… 口腔習癖(指しゃぶりや舌なめずり) ……◆

お子さんの指しゃぶりは本能的な機能で、お母さんのお腹の中にいる時にでもエコーで見られるケースがあるそうです。ただ3~5歳位まで指しゃぶりを続けていると、前歯の上下間に隙間が出来る開咬(かいこう)や出っ歯など、歯並びに悪影響が出る場合もあり乳歯の奥歯が生える2歳半から3歳位に卒業する方が良いでしょう。また開咬や出っ歯になると口呼吸をする傾向があり、口腔が乾燥し虫歯や歯周病になりやすく、さらには喘息やアトピー性皮膚炎への影響も考えられるそうです。舌なめずりは、小児皮膚科領域でも舌なめずり皮膚炎という症例が報告されています。元々アトピー性皮膚炎があるお子さんの場合、乾燥傾向にある口のまわりを舐めまわす事で、さらに乾燥がすすむ口のまわりが赤くただれ、また舐めるの悪循環となります。その他にも、口の中が常に乾燥傾向にあるドライマウスや嚥下障害(えんげしょうがい)、知覚過敏など様々な症例があります。

…………… * 今は過去のもの?アマルガム * ……………

やはり最も気になるのは、虫歯治療に用いられる金属冠でしょうか。金属冠の治療をしてもらう原因は虫歯ですから、まずは虫歯を作らない自助努力が必要ですね。歯の治療は古代ローマ時代の遺跡からもインプラント治療を施した遺骨が発見されているそうです。また日本でも江戸時代には歯の専門医がおり、木製の入れ歯が存在していたとの事。金属冠の代表素材であったアマルガムが登場するのは1826年頃にフランスで使われ出したと云われています。アマルガムはギリシャ語で「柔らかいかたまり」を意味し、その名のとおり歯科修復材としては非常に使いやすい合金でしたが水銀や銀が主原料である為、現在では殆ど使われなくなってきています。

◆…… 新品の時は柔らかい気がします ……◆

アマルガムはその柔らかさの特性から噛む事による摩擦や唾液、飲食物に反応して腐食し体内に取り込んでしまいます。過去には重金属の原子はあまりにも小さい為、水や酸素などと同じく免疫反応を起こす事は無いと考えられていましたが、近年ヒトの体内に吸収された金属はイオン化し血中のアルブミンと結合して免疫反応を起こすまでの大きな分子をつくるという事が解ってきました。アルブミンは、血液中の様々な物質の運搬を担うタンパク質ですが臓器に取り込まれず血中を循環します。すると体内のあちこちに存在する免疫防御システムは、見たこともない異種タンパクを攻撃し、アレルギー反応を引き起こします。またアルブミンと結合しなかった他の単体の金属イオンは尿や汗に混ざって排泄されますが、汗として排泄される単体の金属イオンは皮膚の表皮に存在するケラチンと結合し、異種タンパクに変性しアレルギーとして認識されるとされています。

◆…… 情報が錯そうしている様な ……◆

アマルガムがアレルギーやアトピーの原因の1つかもしれない?という考え方が聞かされてきましたが、皆さんにご紹介しようといざ資料探しをしますと「水俣病と同じ水銀が使われている!」と凶弾する情報や「水俣病はメチル水銀(有機水銀)で、アマルガムに使用されているものは無機水銀で人体に無害だ!」という意見もあって、ちょっと困惑してしまいます。アマルガムの組成はJIS規格(日本工業規格)で水銀は3%以下と定められているのですが、アマルガムを危険とする一部の情報には水銀含有率は概ね50%となっています。でも水銀はご存じのとおり昔の体温計をみれば、その名のとおり液体に近い物質ですからアマルガムに水銀が50%も含有しているとドロドロな合金?という事は素人でも何となく想像できます。正確な所は、銀65%以上、スズ25%以上、銅6%以下、亜鉛2%以下、水銀3%以下がアマルガムの組成のようですから、正しくは水銀を含む合金という事になるのでしょうか。そうするとアマルガムが危険という事ではなく重金属であるスズや水銀、貴金属の銀や銅に対する金属アレルギー

を疑った方が良いように感じます。ただ日本歯科医師学会のHPを覗くと「アマルガム充填法は人体への安全性に問題ない技術ですが、水銀問題が大きく取り上げられた為、新しい歯科修復材への移行が望ましい」としており何となく釈然としません。

…………… * 金属アレルギーとアトピー * ……………

そうなると歯科とアトピーの関係は、やはり金属アレルギーとアトピーの関係と考えた方が解りやすいように思えます。アトピー性皮膚炎の症状がある患者さんで金属アレルギーもある場合は、やはり口腔内にある先程の重金属や貴金属類に反応し皮膚症状に現れるという事は考えられそうです。「アトピーが良くならないのは、やっぱり金属冠か!」と思った方も多いかもしれませんが、やはりその前に処方してもらった外用薬・内服薬・そして日常のスキンケアは怠っていませんか?その他にも掃除や室温・湿度などの住環境や洗濯・衣類など、ここでもまず自助努力があつてからかもしれません。

◆…… 日常的な摂取も考えられます ……◆

金属アレルギーを疑った場合ですが、金属冠だけが溶出して体内に流れ込んでいる訳ではありません。ちょっとイヤな情報になってしまいますが、食品から摂取している可能性も否めません。水道水はやはり水道管の劣化等による溶出も考えられますから、ここは浄水器の出番でしょうか。また金属が含まれる食品もあります。アトピーの方はドクターから止められる甘い物の代表チョコレートにはニッケルが含まれており、最近流行の高 카카오を謳った商品では普通のチョコレートの1.9~3.8倍のニッケルが含まれていたと国民生活センターが調査報告を出しています。

◆…… でも必須の栄養素ですよ? ……◆

ここで新たな疑問が生まれますね。身体に本来必要な栄養素の中には金属も含まれています。体内で亜鉛が不足すると肌荒れを起こし、口内炎やひび割れなどが起こります。また良くご存じの栄養素である鉄分が不足すると貧血やめまい・息切れなどを起こします。その他にも、コバルトは体内でビタミンB12を作る材料として存在しているそうです。そうなるとどれが金属アレルギーを起こし、どの栄養素は摂取しても良いのでしょうか。本来、人の生体機能を維持するには様々な金属が不可欠です。鉄・銅・亜鉛・コバルト他々。先程のニッケルも微量ですが体内に必要なミネラル成分という事が解ってきたそうです。

…………… * 金属アレルギーの診断と歯科治療 * ……………

近年、金属アレルギーの症状を訴える人は増加しており本来ヒトが持っていた有害物質を排泄する機能などを越える体内への摂取によって免疫システムが異常をきたしているのでしょうか。

◆…… 金属アレルギーとは ……◆

金属アレルギーは、時計やネックレス・指輪などに触れて起こる接触性皮膚炎に代表される局所性金属アレルギーと、食べ物や飲み物、また歯科治療などからの摂取で血液を通じて全身に症状が出る全身性の金属アレルギーに分かれます。接触性の金属アレルギーは、その原因となる金属に触れなければ症状も改善しやすいのですが、全身性の金属アレルギーとなると、その原因追究が非常に厄介です。全身性の場合、最も良く現れる初期症状はお薬を塗ってもなかなか治らない小さな水ぶくれのような湿疹が手足に出来、手湿疹や水虫などと間違いやすい症状が現れます。体内にある過剰な金属は便や尿となって排泄されますが、汗にも含まれて排泄されるため、汗腺が多い手足に初期症状が現れやすいとされています。

◆…… 歯科金属アレルギー調査 ……◆

東京歯科大学千葉病院の調査では、歯科金属アレルギー外来を受診した1037名中49.5%が金属アレルギーの疑いがあったとしています。また陽性反応が高かった金属は順に、ニッケル20.2%・亜鉛11.7%・パラジウム11.1%・コバルト7.5%・水銀5.6%・スズ5.5%という結果が出たようです。ただ、陽性率が全体数の約半数であった事から、何らかの金属にアレルギー反応があると考えても口腔内の修復材が発症や増悪に直接的に関与していない症例も多く含まれ、難治性の皮膚疾患や口腔粘膜疾患などを患者さんが訴えても安易に歯科金属アレルギーの診断を下すことや金属除去処置を行うのではなく、他の病因を十分検討しそれらの処置を行っ

た上で金属アレルギーの診断を行うことが重要と結論づけています。

◆…………… 新しい歯科修復材 ……………◆

長引く症状を解決したいが故に、新しい犯人探しをして誤認逮捕! っていると、また落胆してしまいますね。でも、金属アレルギーの患者さんも増えている訳ですから歯科修復材も新たな素材が登場しています。比較的金属アレルギーが少ないとされるチタンや最近ではセラミックが高額なためハイブリッドセラミックやジルコニアなど比較的安価な素材も使用されています。全てのヒトがアレルギーを起こさないとはいきませんので、まずは皮膚科での金属アレルギーテスト、そして金属アレルギーが疑われた時は、保険適応などについても、しっかり歯科医師と相談してから治療を受けて下さい。転勤や引越で歯医者さんを変えないといけない場合もありますが、痛くなったら行く歯医者さんではなく、かかりつけ医な歯医者さんとお付き合いをしたい所です。

●●●●● EYE 眼科とアトピー ●●●●●

ちょうど昨年と同じ9-10月号で、眼科医である中川医院の中川やよい先生にドクターインタビューページで眼科とアトピーについて詳しくお話しをお聞きし掲載させて頂きました。先生のドクターインタビュー記事を読んで頂いた方には、もう一度そのおさらいとなりますね。

* やはり気になる眼の病気 *

春になると目がかゆかゆ、鼻がむずむずで「やばい。来た!」と花粉症を春のはじまりの合図にされている方もおられるかも。その時は息も絶え絶えですから耳鼻科は受診される方も多いと思いますが、目をこすって充血していても眼科を受診される方は少ないかもしれませんね。増して目をこする回数が多いアトピー症状がある方では、その回数は半端な数では無いことが想像出来ます。アトピー性皮膚炎の方が発症しやすい目の合併症は、結膜炎・春季カタル・眼瞼(がんけい)炎・円錐角膜・白内障・網膜剥離・網膜裂孔などで、その他にもコンタクトレンズを原因とする巨大乳頭結膜炎などもあります。目の症状悪化は、視力の低下を招き日常生活で様々な支障を来す可能性もありますから日頃から注意したいものです。症状をご説明する前に、今さら人には聞けない基本からおさらいです。大雑把に云うと結膜とは白目を覆っている薄い膜で、角膜とは黒目にあたる部分で眼球で最も前にある透明な膜を云います。

◆…………… 結膜炎 ……………◆

結膜炎にはアレルギー性結膜炎とアトピー性角結膜炎、春季カタル、そして先程の巨大乳頭結膜炎に分けられます。アトピー性角結膜炎は、やはりアトピー性皮膚炎を伴う方に多くみられる疾患で、目の痒みが酷く涙が出て結膜が充血、結膜が分厚くなったり濁ったりする症状で、その上まぶたの皮膚も分厚くなり感染症を起こしたり、涙による角膜保護作用が低下して点状表層角膜症や角膜びらんなどを伴うこともあります。

◆…………… 春季カタル ……………◆

春から夏にみられる重症のアレルギー性結膜炎を春季カタルと呼びます。春季カタルの70%以上の方にアトピー性皮膚炎がみられるそうです。春季カタルは瞼の内側にブツブツとした乳頭ができ、重症になると巨大乳頭になります。そうすると黒目(角膜)に傷ができ痛みを伴います。結膜炎・春季カタルの治療には、抗アレルギー薬やステロイド点眼薬を用いますが、瞼などの皮膚炎もしっかり治療することが大切です。

◆…………… 眼瞼炎 ……………◆

目の周辺の皮膚に赤いまだら、湿疹、むくみ、ただれ、かさつきなどのアトピー性皮膚炎の特徴的な症状が見られ、酷くなると上下の瞼が固く分厚くなります。痒みが強いので、強くこすったり、叩いたりして眼球に強力な圧力がかかるため角膜や結膜を傷つけてしまう事が多く、また黄色ブドウ球菌や単純ヘルペスウイルスなどの感染症を招きやすく、症状を悪化させる原因となります。さらに症状が悪化すると白内障や網膜剥離などの重篤な合併症を発症する事が多いため、目の治療と同時に皮膚科専門医を受診し、痒みを抑える対応や特に目のまわりの皮膚炎症治療さらには感染症対策などが重要となります。

◆…………… 円錐角膜 ……………◆

黒目の角膜が薄くなり、円錐上に黒目が突出するため不正乱視となり、物が変型したり二重に見えたり眩しく見えたりします。比較的稀な症例のようですがアトピー性皮膚炎患者さんの場合は、一般人口比から見るとその10倍以上の高率だそうです。円錐角膜の患者さんは目をこする動作が日常的に見られ、さらに利き手と同じ側の目の発症が早かったり重症になるケースが多いと云われています。また重度の円錐角膜の場合は角膜移植となるケースもあります。

◆…………… 白内障 ……………◆

白内障はカメラのレンズにあたる水晶体が濁り、眩しい、物が二重に見える、メガネをかけても焦点が合わないなどの症状が起きます。加齢による場合が最も多いのですが、先天性や外傷、糖尿病などの代謝異常、また他の目の病気が進行して起こる場合もありますが、アトピー性皮膚炎による代表的な目の合併症ともされています。白内障は周囲からくさび型に主に皮質の混濁によって起こる皮質白内障、水晶体の中心部から均一に濁り固くなっていく核白内障、アトピー性皮膚炎がある方の場合に良くみられる後囊下(こうのうか)白内障などがあります。またアトピー性皮膚炎の症状が長い程、また顔や目周辺の皮膚炎が重い程、白内障を合併する率が高いと云われています。アトピー型の白内障は、水晶体がヒトゲ状やクローバー状に濁りが広がる前囊下混濁や皿状に広がる後囊下混濁などの症状が現われ、比較的早く症状が進み水晶体全体が濁る成熟白内障(膨張白内障)に進んでしまうこともあります。

◆…………… 網膜剥離・網膜裂孔 ……………◆

網膜は眼球の後側の内壁を覆う膜で、映像を神経信号に変換する働き

法人賛助企業様ご紹介 第二十一回

協会は多くの法人賛助会員さまの年会費によって会務を行っており、本紙面を通じまして日頃お世話になっている法人様を順次ご紹介しております。関係各位にはコメントをお願いしておりますので「是非患者さんへのひと言〜」をお願いいたします。

カルピス株式会社

平成19年(2007年)ご入会

- ◆ 所在地 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿 2-4-1
- ◆ 電話 03-6412-3255
- ◆ 業種 飲料・食品製造販売
- ◆ 関連商品

「健彩生活「アレルケア」シリーズ」

◆ 会員の皆様へのひと言

弊社では長年の乳酸菌研究の中から選び抜いた「L-92乳酸菌」を「健彩生活「アレルケア」シリーズ」に活用しています。カラダの中から強くなりたい方の健康で快適な毎日をサポートします。お子用から大人用までご用意しており、カルピス社ならではの安心してご利用いただけるサプリメントです。

株式会社ササキ

平成19年(2007年)ご入会

- ◆ 所在地 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-5-2 第二宝生ビル1F
- ◆ 電話 03-3891-6464
- ◆ 業種 化粧品製造販売業
- ◆ 関連商品 基礎化粧品パッサ・アパリアル

◆ 会員の皆様へのひと言

「安心・安全と効果・満足」を期する商品開発の理念のもと商品化した基礎化粧品で特許(殺菌・皮膚ひきしめ効果)を取得。合成界面活性剤(乳化剤)・防腐剤・香料・酸化防止剤をはじめ不安材料は一切未使用。日本はもとより韓国・台湾の皮膚科医師からも要請を受け輸出もしております。(敬称略)

を持っており、視神経を通して脳中枢へと信号を伝えるため、カメラのフィルムに良く例えられます。その網膜が本来貼り付いている網膜色素上皮細胞から何らかの原因で剥がれる状態を云います。剥がれた部分の網膜は機能が低下し、その視野が欠けてきます。アトピー網膜剥離の約70%は15～25歳に多く見られ、その40%が両眼に症状が現われるとされています。早期発見、早期治療が重要なのですが、アトピー網膜剥離は通常の網膜剥離と異なり、周辺網膜だけが長い間剥離しているケースが多く患者さんに自覚症状が無い事や白内障を合併している事も多く、網膜剥離を見つけにくく診断が遅れるケースも多いようです。網膜剥離は、網膜が生まれつき弱い、慢性的な炎症があったり、遺伝的或いは内的な要因が関わっているとも云われていますが原因は明らかではありませんが、眼を擦ったり叩いたりする事が最も大きな原因と考えられています。また網膜裂孔とは網膜に亀裂が入った状態で、亀裂が生じた際の出血が硝子体に混ざり視野を動かすとゴミのような物が見える飛蚊症という症状が現われる事もあります。

* 白内障・網膜剥離の治療 *

◆…………… アトピー白内障 ……………◆

網膜剥離や網膜裂孔などを合併している事が多く、加齢性白内障より治療が難しい場合もあり、白内障手術中に網膜剥離の同時手術が必要な場合もあります。また眼瞼皮膚炎を合併していると術後の感染症の危険も高まり、さらに眼内レンズを挿入した場合、叩いたりするとレンズがずれる危険性もあるため同時に皮膚科専門医による皮膚治療がとても大切となります。眼内レンズは遠方が近い所かのどちらか一方にしか焦点が合わないため、メガネが必要となってしまいます。

◆…………… アトピー網膜剥離 ……………◆

アトピー網膜剥離の場合、視力低下を自覚出来る状態の場合、症状は相当進行しているとされていますので早急な治療や手術が必要となります。網膜が上の方から剥離すると視野の下の方が欠けます。耳側の網膜が剥離すると鼻側の視野が欠けます。中央部から網膜が剥離すると歪んで見えたり視力が低下します。長期に放置された網膜剥離や裂孔は、痛んだ網膜の周辺に新たな増殖膜が出来て複雑な状態になっている事も多く、硝子体手術などが必要となります。

* やっぱり掻くのは止められない? *

掻いたり、こすったり、叩いたり、痒さを我慢する事は痛さを我慢するより難しいとも聞きます。目以外にも体の一部を掻き出すと次々と痒みが広がり、イッチスクラッチサイクル (itch scratch cycle) という痒みサイクルに陥る事は残念ながら皆さん経験済みですね。目や顔も痒いから掻いてしまう訳ですが、アトピー性皮膚炎患者さんには痒い訳ではないけれど掻いてしまう嗜癢的搔破行動 (しへきてきそうはこうどう) が多く見られるようです。この行動による皮膚疾患の悪化が論文により報告されています。

◆…………… 嗜癢的搔破行動とは ……………◆

「嗜癢」とは古典的精神医学では本来薬物中毒に用いられた言葉のようですがアトピー患者さんの搔破行動には、その言葉に匹敵する程の強い習慣性があるという事でしょうか。良く患者さんから耳にしますのはイライラすると掻く。掻くとホッとする。気が紛れる。ストレスから解放される。掻いてもいい箇所をつくるなどなど。その後は掻いてしまった罪悪感にも苛まれますね。アトピーの症状が皮膚にあると、どうしても患部を掻いてしましますが、嗜癢的搔破にはそれとは別に手が届く範囲に鮮明な境界線がある皮疹が見られるそうです。また爪は搔破行動によって真珠のように光沢を生じるパーリーネイル (pearlynail) となったり指関節の色素沈着やナックルパッドと呼ばれる胼胝 (べんち) 様反応=タコが出来ている事も特徴です。

◆…………… 心理的ストレスと搔破行動の関係 ……………◆

嗜癢的搔破行動の原因は、やはり様々なストレスとされています。確かに見たかったDVDを見ている時や子供さんがTVゲームに熱中している時は両手が塞がっている事もありますが、「痒で掻くこと」はお休みしているように思います。東京女子医科大皮膚科学教室で重症入院中のアトピー患者さん100例での調査結果では、87例に嗜癢的搔破行動が認められたそうです。その原因は、家庭内の問題が35.7% 仕事上の問題が34.3% 進路や受験の問題が20%やその他恋愛や転居などとなっています。また退院後63例の方に対しての調査では搔破行動を自覚して生活

出来た人が47例あり、症状改善が46.8% やや改善が44.7% 変化なしが8.5%という結果で、自覚出来なかった残りの16例の方の症状改善率を全て上回る結果となったようです。よく聞く「痒み日記」を付ける事は、やはり効果があるのかもしれませんが、「掻いちゃダメ!」と云ったり云われたりのご経験をお持ちだと思いますが、痒さを我慢する方が先程の原因よりも最も大きなストレスとなって嗜癢的搔破となってしまふのかもしれませんが、やはり日常生活にあるストレスを回避する方法や自分なりのストレス発散方法を見つける事が大切かもしれません。

●●●● NOSE 耳鼻科とアトピー ●●●●

耳鼻科は花粉症やアレルギー性鼻炎で比較受診されている方も多いと思います。「いい皮膚の日」が1月12日なのはご存じだと思いますが、「鼻の日」がある事はご存じでしたか。昭和36年に日本耳鼻咽喉科学会で文字どおり8月7日に制定されており、鼻の疾患に関する啓発を行っています。

* 苦しいですね。鼻水・鼻づまり *

酷い花粉症の方は息も絶え絶え、口呼吸でも息苦しいですね。アレルギー性鼻炎の方も、日常的に口呼吸になっているかもしれません。ヒトは本来、鼻から息を吸う生き物ですから理に通っていない事で体に何か起きるのかもしれませんが。さて鼻づまりも苦しいですが、鼻水も苦しいですね。鼻水の正体っていったい何なのでしょう?下を向かなくてもタラ〜と鼻水が出る花粉症の方には厄介者ですが、鼻水は外気を加湿したり病原体を吸着し鼻粘膜を保護しながら体外へ流す役割などを行っています。やはり花粉症の時には過剰反応によって鼻水の役割が増すのでしょうか。鼻水の量は主として三叉神経と副交感神経が調節していて、化学的刺激や温度変化などを察知して脳幹へ信号を送り鼻腺から鼻水が出ます。風邪で鼻が出るなども、やはり体を守るための防御反応ですから病気の無い「いい鼻」でス〜と吸いたいですね。

◆…………… 急性・慢性鼻炎 ……………◆

主に風邪などのウイルス感染により急性上気道炎を起こし鼻粘膜にも急性の炎症が起きます。放置すると慢性鼻炎となったり中耳炎や副鼻腔炎を併発する事もある。特に小児の慢性鼻炎は適切な治療を受けないと合併症を起こしやすい。慢性鼻炎は炎症が治まらない場合や急性鼻炎を繰り返し起こすことで慢性化し粘膜が赤く腫れた状態となる単純性鼻炎、そして炎症が進行し粘膜が固く厚くなる肥厚性鼻炎に移行する事もある。肥厚性鼻炎になると薬物療法では効果が出ない場合もあり手術療法も行われる。主に水鼻。粘性の鼻汁。鼻づまり。鼻血。鼻汁嚥下。頭痛。におい異常。くしゃみ。喉の乾燥などの症状がある。

◆…………… 急性・慢性副鼻腔炎 ……………◆

鼻の穴から気道に繋がる空間 (鼻腔) に接し、薄い骨で囲まれた4つの空洞を副鼻腔と云い、その粘膜が炎症を起こし膿が溜まる。急性の場合は鎮痛剤や抗生剤などが処方される。副鼻腔炎を繰り返す事により慢性化し、常に膿が溜まった状態を俗に蓄膿症 (ちくのうしょう) と呼ぶ。多量鼻汁。鼻づまり。頬や鼻周辺の鈍痛。発熱などの症状がある。また粘膜に膿が溜まって垂れ下がる鼻茸 (はなたけ) が出来る事もある。抗生物質等を服用して治療するが副鼻腔内にカテーテルを挿入し膿を出し薬剤を注入する治療法や内視鏡手術も行われる。

◆…………… アレルギー性鼻炎 ……………◆

皆さんに症状の説明も不要だと思いますが、水鼻。多量鼻汁。くしゃみ。特定の原因でも症状が出る。通年型と花粉症などの特定時期に出る季節型があり、共に鼻粘膜のI型 (即時型) アレルギーで特定物質に過剰反応して起こる。通年型の原因物質はハウスダストやダニの糞や死骸、カビ、ペットのフケなども原因となる。季節型は春のスギ、ヒノキなどが代表的で、秋にはカモガヤやブタクサ、ヨモギなどの花粉が抗原となる。抗ヒスタミン剤や抗アレルギー剤、ステロイド剤などが処方される。またアレルギー物質を少量づつ注射して抗原に慣れさせる減感作療法や「あとびいなう4・5月号」でご紹介したスギ舌下免疫療法なども注目されている。

◆…………… 小児アレルギー性鼻炎 ……………◆

近年小児アレルギー性鼻炎が増加傾向さらに低年齢化している。乳幼児でもスギ花粉のIgE値が高率で見られる。小児気管支喘息の7〜8割にアレルギー性鼻炎が見られ、反対に小児アレルギー性鼻炎の約5割に気管

支喘息が見られる。また小児アレルギー性鼻炎がある場合、まずアトピー性皮膚炎の症状が先行するとされている。アトピー性皮膚炎や気管支喘息は統計的には成長と共に軽快する傾向を示すが、アレルギー性鼻炎は治療率が低く成人後も症状が継続するため、小児におけるアレルギー性鼻炎はその他のアレルギー疾患合併の可能性も高く早期治療が望ましい。

◆…………… 鼻・副鼻腔ガン ……………◆

鼻の穴(鼻腔)に出来るガンを鼻腔がん、副鼻腔に出来るものが副鼻腔ガンで合わせて鼻・副鼻腔ガンと云う。副鼻腔は骨に囲まれている空洞のためガンの発見が遅れる事がある。片方だけの鼻づまりや鼻出血などが初期症状として認められる。頬が腫れたり上あごが腫れたりする場合もあり蓄膿症と間違えやすいとされる。近年では手術療法に放射線治療や化学療法を併用した三者併用療法が主流となり、機能温存が図られている。

◆…………… アトピー咳嗽(かいそう) ……………◆

鼻の病気にはあたりませんが、耳鼻咽喉科領域の疾病です。アトピー咳嗽は、1989年に日本で提唱された疾患でアトピー素因を持つヒトに起こるとされている。アトピー咳嗽は、乾いた咳が特に就寝中や夜中から早朝、また起床時などに出る。また温度差のある空気を吸った時などにも出る。咳喘息と同様に気管支喘息のような発作は起こさない。いずれも気管や気管支に炎症を生じるが、風邪をひいた2~3週間経過後も喘鳴や呼吸困難を伴わず、痰が絡まない乾いた咳が止まらない場合、アトピー咳嗽が疑われる。アトピー咳嗽では咳喘息で見られる気道過敏性の亢進がなく、気管支拡張薬も効果を示さない。またアトピー咳嗽が気管支喘息に移行することは原則ないとされているが、再発する頻度が高いとされる。

◆…………… 鼻にもいます黄ブ菌 ……………◆

二次感染症などで良く耳にする黄色ブドウ球菌。折に触れこの誌面でもご紹介していますが、鼻腔や鼻の下(鼻前庭)周辺にも多く住んでいる事が認められています。またアメリカ・サウスカロライナ医科大学で全体数5500人以上による調査では約1.4%にMRSA(メチリン耐性黄色ブドウ球菌)の鼻腔内保菌者が報告されています。黄ブ菌は食中毒、また肺炎や髄膜炎、敗血症など致死性となる感染症を引き起こす細菌ですが、ヒトの皮膚表面や毛孔にも存在しており、特に鼻腔内に多く存在する常在細菌です。諸説あるようですが約30%~100%のヒトが保有していると言われています。ヒトの皮膚に常在するブドウ球菌の中で、黄ブ菌は毒性が高いのですが皮膚表面や鼻腔などでの増殖自体が発病につながることは少ないとされています。ただ日和見菌のためキズなどから体内に侵入した場合に発病することが多く、感染力は強い部類に属しますが、菌が少なければ通常その毒性は弱く悪さをする事はあまりありません。鼻にいる黄ブ菌の別の調査でも約14%のヒトから検出されており、鼻をかんだり水鼻などで鼻前庭や周辺には黄ブ菌はやはり存在していて、掻き傷があるとその部位から体内に侵入し毒素を放出、化膿性疾患の代表的な細菌であるため膿汁中には大量の菌が存在することとなり皮膚症状悪化という事にも繋がります。鼻とアトピーの関係はこんな所にもあるのかもしれませんがね。耳鼻科での治療は勿論ですが、鼻をかんだ後は手洗いに合わせ鼻周辺も水洗い出来れば良いのかもしれませんがね。

* 出来ますか?鼻うがい *

鼻周辺の水洗いも少しは有効かもしれませんが、鼻腔内を洗う「鼻うがい」って出来ますか?チャレンジしたけど「痛い!」って諦めた方、「鼻スッキリ頭スッキリ!」と云う方もおられますね。花粉症に限らず鼻うがいの有効性はあるのでしょうか?市販の鼻うがい洗浄器や鼻口用スチーム器もあって、これも自分で出来るケアなのかもしれません。

◆…………… やはり民間療法? ……………◆

花粉症に限定かもしれませんが、この部分はある程度試されている方も多そうですね。最近得た情報では「じゃばら」というユズやカボスなどと同じ柑橘系果実が花粉症に有効と月刊「臨床免疫・アレルギー科」(第50巻第3号岐阜大学医学部教授湊口信也他)などにも掲載されたようです。「じゃばら」は、和歌山県東牟婁郡にある日本で唯一の飛び地、北山村が原産で村の特産品でもあり村を上げての事業となっているようです。過去にも花粉症対策には様々な商品が発売されていますが、医療機関での臨床報告があった商品は少ないのが現状で厚労省の調査報告では代表的な所で、漢方薬の効果は全体の50%が有効、35%が効果なし、

15%が不明。シジウム茶は40%が有効、40%が効果なし、20%が不明。甜茶は14%が有効、51%が効果なし、35%が不明となっています。また鼻スチーム療法は46%が有効、41%が効果なし、10%が不明。鼻洗浄(鼻うがい)は46%が有効、54%が効果なし、不明は0%とされています。数字を見ると、効果があるヒトや無いヒトもあって、やはり個人差が大きいのでしょうか。自宅で出来る民間療法について、耳鼻咽喉科でもスチーム療法と合わせ鼻洗浄療法の有効性と注意喚起がされています。

◆…………… 鼻うがいは賛否両論? ……………◆

民間療法が先行している感がある鼻うがいですが、医療機関でも効果を見直す動きが一部であるようです。過去にはプールの後にアレルギー性鼻炎が悪化するなどの理由から鼻うがいは鼻粘膜に障害を与えるという見方があった様ですが、反面、鼻腔内の手術後、鼻粘膜を洗浄すると経過が良くなると云った報告が見られる様になってきているためです。鼻うがいは、鼻腔内を洗浄水で洗い花粉症ではスギ花粉や鼻腔の炎症で増殖するケミカルメディエーターや好酸球顆粒蛋白の除去効果により炎症が抑えられると云われています。ケミカルメディエーターとはIgEが放出するアレルギー症状に作用する化学伝達物質のことでヒスタミンやセロトニンなどあり、ヒスタミンは特にアレルギー性鼻炎と関係が深く、抗原を攻撃する物質です。

◆…………… 大切な3つの条件 ……………◆

鼻うがいには、①洗浄液の温度。②浸透圧による刺激を抑制する事。③強い圧力で洗浄しない事。が大切とされています。また爽快感からの濫用や洗浄液成分により、異物等を防御する線毛機能を損傷し反対に鬱血状態を招く場合もあるとされています。洗浄液の温度は通常ヒトの体温か、やや低めの温度設定とされていますが、ヒトによって最も刺激を感じない温度設定が大切な様です。浸透圧については、鼻粘膜は液体の浸透圧に非常に影響を受けるため、洗浄液成分には注意が必要です。水道水でも上皮細胞に著しい障害を及ぼすとされており、生理食塩水(約0.9%濃度の食塩水)や顆粒状のアズレンスルホン酸ナトリウム水和物を含むうがい薬(口腔用うがい薬は水溶性アズレン或いはアズノール)を湯水溶解して代用出来るとされていますが刺激のない希釈率が大切です。3つ目は症状が辛い場合、どうしても水圧を強く使用する傾向があり、極度な使用や濫用は中耳炎などを招く危険性もありますので医師指導下が望ましいとされています。低年齢化が進む鼻炎ですが、乳幼児に鼻うがいの使用は出来ないかもしれませんが、鼻炎薬を飲めない妊婦さんには有効なのかもしれません。

結語にかえて

* 歯も目も鼻もお疲れ様 *

目を瞑ってください。当り前ですが何も見えません。暗闇の中、何事も無いように生活されている方もおられます。生まれつきの方、突発的な事故や病気で光を無くされたのかもしれませんが。アトピー性皮膚炎の痒みを耐えることは辛い事ですが、光の無い生活は想像出来るものではありません。また上下28本の歯が悪くなれば噛む事が難しくなります。厚労省と日本歯科医師会では80才でも20本以上の歯で食べる8020(ハチマルニイマル)運動やその財団も設立されました。歯が痛くて良く噛めず胃が痛くなったり便秘になったりで済めばよいのですが、虫歯菌は重篤な疾患につながる事もあります。また歯科とアトピーでは金属アレルギーについてご紹介しましたが、同じ口腔領域では扁桃腺疾患という考え方もあります。自動努力は必要ですが、独自で行う新たな犯人捜しではなく、やはり主治医のドクターと良く相談することが大切です。「目は口ほどにものを云う」と云います。人間が喜怒哀楽の感情を最も顕著に表すのが目だという諺です。また注意に注意を重ねる事を「目で見て鼻で嗅ぐ」という諺もあります。歯も目も鼻も皮膚と同じ外界と直接触れている器官で、あなたに大切なシグナルを毎日送ってくれています。日頃の感謝を込めて時々オーバーホールで労わって上げて下さい。

ハイ！アトピーつき合い40年の友実です

フリーアナウンサー 関根 友実 連載第13回



思春期まっさかりの中学二年生の娘が最近になって急激に美容に目覚め、外出のたびに日焼け止めをしっかりと塗るようになりました。私が中学生のころは、日焼け止めなんて薬局に売られていなかったように思います。きっと売られていたのですが、現在のようにドラッグストアの棚を埋めるくらい豊富な種類は売られていなかったように思います。

紫外線が良くないということは、今となっては常識のような情報ですが当時はまだ断片的で、「皮膚がんになる」とか「皮膚の老化と強い因果関係がある」というインパクトのある情報はまだ広まっていませんでした。永遠の美女・夏目雅子さんが小麦色の肌できらきらするような笑顔でCMに出ており、焼けた素肌は健康的な魅力であるという「常識」がまかり通っていました。15年ほど前にも、真っ黒に日焼けした肌に白髪、白い口紅というおどろおどろしいでたちがギャルに大流行となり、「ヤマンバギャル」という日焼けブームが来ていました。女性とともに男性も日焼けサロンに通い、肌を焼くことにお金をかけるという時代も長くありました。そんな時代があったことが嘘のように、今の女の子たちは少女のころから日焼けを避ける努力をしています。美容に敏感なママたちは、赤ちゃんのころから日焼け止めをしっかりとわが子にも塗った上で外出しています。意識は変わったものだなあと痛感します。私自身はアトピー箇所にはプロトピックを塗っているのですが、紫外線は厳禁と医師からの注意も聞かず、もっぱら日傘での日焼け予防です。紫外線99%カットの晴雨兼用折り畳み傘は、財布に並び重要な外出アイテムになっています。20代のころ、高校野球の仕事を担当することがあり、真夏の甲子園球場に通い詰めていました。日傘をさして取材をすることなど有り得なかったのに、日に焼けるままに任せてしまっていました。仕事なので仕方がなかったのですが、「肌って焼けば黒いと黒さを通り越して紫になるんだ」というおかしな感想を持ったことが記憶に残っています。そんな黒さは30代にじわじわと肌から浮き上がるシミとなって今に繋がっています。ケアを怠っていたツケは確実に訪れるものですね。浴びるように日焼け止めを全身に塗りつけている娘の姿を見ながら、日焼けが健康美の象徴だった時代から日焼けが健康の象徴とはいえなくなった時代へ、激しく移り変わった日焼けの位置づけに思いを馳せました。科学の進歩につれていろいろなことが明らかになっていくことは、もちろん良いことでもあります。背筋が寒くなることでもありますね。……………(次号につづく)

Shocking news

ちよとしょきんぐ!!

トキシック・ショック症候群=TSS

昨年9月付けの英紙「Daily Mail電子版」に掲載されたのですが、非常にショッキングな記事だった為、またドクターもその症例を見る機会が稀とのことで特に女性の方への注意喚起として紙面を割きました。

イギリスの15歳女子生徒が重度の敗血症となり、重篤なショック状態で死の淵を彷徨ったそうです。

トキシック・ショック症候群=TSSは、非常に短い時間で重篤な病態を引き起こす敗血症の一種とされており、急な発熱・吐き気・日焼けのような発疹・めまい・失神・下痢など重度のインフルエンザに似た症状が現われるそうです。TSSは生理用タンポンが原因であることが多く「タンポンショック」とも呼ばれています。タンポンは経血を吸収する生理用品ですが、経血には栄養分も多く含まれ体内の常在菌や腸内細菌が繁殖し、膣や子宮頸管などから血液中に入り菌血症、さらには敗血症となりショック状態になり非常に稀ですが死に至るケースもあるようです。TSSは本来、老弱男女を問わず誰でも罹患する病気で、火傷や炎症性浮腫、虫刺されなどでも発症するとされていますが、発症数の約半数がタンポン使用によるもので、産婦人科医への取材ではタンポンが抜けない。外すのを忘れる。忘れて2個目を挿入していたなどの症例もあったようで、その様な状況下では下半身に悪臭がする為、タンポンショックを回避する1つの目安となるとしています。メーカーは使用時間を8時間迄とした上、こまめな取り替えを呼びかけています。しっかり使用方法を守り、楽しい旅行や頑張った部活がとんでもない事にならない様に気をつけたいものです。



ATOPIC SHOWROOM

てふてふ「ふわふわコットンシリーズ」のご紹介

ふわふわ コットン

お肌にやさしいベビーガーゼ
空気を含んだやわらかな着心地

有限会社 テフテフ

〒599-8254 堺市中区伏尾65-2

電話 072-276-7060

FAX 072-276-7061



◀半袖シャツ(M・L) 3,300円+税



▲ショーツ(M・L) 1,800円+税

婦人インナー業界に入って40年余り経過いたしました。当初はファンデーションやランジェリーの扱いが中心でしたが最近では主に肌着とショーツに特化した商品構成になっています。特に「袋天天」を使用した「ふわふわコットンシリーズ」は肌にやさしくベビーガーゼとも呼ばれデリケートな肌の方にも好評を博しております。また平成19年からは「日本アトピー協会」推薦商品グループもこれに加わり、より充実した商品構成になってまいりました。販路としては全国の専門店や百貨店(阪神百貨店・大丸芦屋店・名鉄百貨店)などで展開していますが、今後はネット関連も重要なチャンネルとして考えております。

送達ご希望の方はご連絡ください。書面・メールにて受付中

日本アトピー協会通信紙 あとびいなう

通信紙「あとびいなう」は積極的な治療への取り組みと自助努力を促すことを趣旨とし多くの患者さんに読んでいただきたく無料でお届けしております。ご希望の方はお届け先・お名前・電話番号やメールアドレスなどをお知らせください。患者さん・医療従事者の方に限定しておりますが一般の方もご希望でしたらご連絡ください。スクリーニングの結果、お届け出来ない場合もありその節はご容赦ください。なお協会ホームページからもお申し込みいただけます。

次号11月発行予定

〒541-0045

大阪市中央区道修町1-1-7日精産業ビル4階

電話 06-6204-0002 FAX.06-6204-0052

E-Mail jadpa@wing.ocn.ne.jp

Home Page <http://www.nihonatomyjoin-us.jp/>

ドクターインタビュー

菊池 新(きくち あらた)先生

医療法人社団 慶新会 菊池皮膚科

菊池先生は、慶應義塾大学病院、アメリカ国立衛生研究所(NIH)にて皮膚免疫学を研究され、平成10年5月に帰国して菊池皮膚科医院をご開院。クリニックは患者さんの立場で納得のいく丁寧な診療と専門的な皮膚科情報の提供を目的とされており、また「金属アレルギー」にご造詣が深いとお聞きしておりますので、ぜひともアトピーと金属アレルギーについてお聞かせ下さい。

—「金属アレルギー」の症状について詳しく教えてください。

「金属アレルギー」は、最近明らかになってきた新しい概念で、まだまだわからないことも多い分野です。ピアスやネックレスをして汗をかくとその部位がかぶれるという経験がある方はおられるでしょう。金属は汗などと接触すると溶け出してイオン化し、皮膚や血液中のたんぱく質と結合します。その複合体は体内で異物として認識され、免疫システムがこれに対してアレルギー反応を起こすと、皮膚にかゆみをともなった炎症が起こります。これが金属アレルギーです。アクセサリーなど身に付けるものでかぶれるだけなら、それをつけさえしなければよいのですが、全身性の金属アレルギーという治りにくい病態を起こすと非常に厄介です。最も問題になるのは、歯科治療で入れた口腔内の金属で、これらが溶け出して腸で吸収されると、手足に湿疹や水疱などを生じたり、体中にかゆいしこりができたりするのです。金属を入れてから5~10年も経ってからこのような症状がでることがあるので注意が必要です。また若いうちからピアスをするのは、全身性の金属アレルギーの発症時期を早めることになるので、できれば避けた方がよいでしょう。


—先生は治療で歯医者さんとの連携をされておられるとのことですが、きっかけなどございますか？

私が米国留学から帰国直後の15、6年前も、歯の治療で使用した金属によって生じる「金属アレルギー」という疾患概念はありましたが、今に比べるとかなり認知度が低かったのです。ですから、歯科医の先生もなかなか協力してくれませんでした。私が検査して金属アレルギーを指摘しても、「そんな病気はない」とか「皮膚より弱い粘膜に出ないのに遠く離れた手に湿疹が出るはずはない」とか言ってきたり、対応してくれない歯科医がほとんどでした。それを知り合いの大学病院勤務の矯正専門の先生に相談したら、近くでちゃんと対応してくれる開業の先生を紹介してくれました。今では週に何人もの金属アレルギーの新患をその先生以外の施設で紹介して、金属をなくすようお願いしても、きちんと対応してくれるようになりました。もちろん、患者さんによっては老人で体力的に治療ができないとか経済的に難しいとか、うまくいかないケースも多いことがわかりました。そういう場合、理想はメタルフリーですが、摩擦の早い金属だけ取ってみるとか、出来るだけ本数を減らす方向で指導していきます。金属アレルギーがある場合、歯の治療を始めると徐々に効果が出てきます。1、2本金属歯を治療しただけで、治ってしまう方もいれば、10本治療してもなかなか治らない患者さんもいます。金属はすぐには体から抜けないので、金属が長期間かつ多数口腔内に入っていた方ほど治りにくい傾向があります。

—アトピー性皮膚炎患者さんの金属アレルギーを疑われる場合について、お聞かせください。

金属アレルギーとアトピーでは発疹のパターンが基本的には違います。よくあるのは、「小さい頃はアトピーでひじやひざの裏に発疹が集中的に出ていたけど、この頃違う場所に違う形の発疹がでる」というケースです。そういう時はアトピーの検査だけではなく、金属アレルギーの検査も並行して行います。アトピーが治まっても、若い頃入れた金属歯の影響で金属アレルギーが10年後に出てくる場合もよくあるので、そういう時はアトピーの治療だけをしていても治らなくて当然です。ですからアトピーという固定観念だけで診ないで、それ以外の金属アレルギーや洗剤のかぶれの合併なども視野に入れ、患者さんの症状全体を診ないといけません。アトピー自体は落ち着いているのに、アレルギー体質であるために他のアレルギーも併発することはよくあります。金属アレルギーは血液検査ではわかりませんから、金属アレルギーのパッチテストも行い、陽性所見が出る人は歯の治療も必要なのです。

DOCTOR INTERVIEW



DOCTOR INTERVIEW

菊池 新(きくち あらた)先生のプロフィール

- 1987年 慶應義塾大学医学部卒業
- 1991年 慶應義塾大学医学部皮膚科学教室入局
- 1995年 同皮膚科学教室医局長、研修担当主任
- 1995年 同皮膚科診療科医長
- 1996年 アメリカ国立衛生研究所 (National Institute of Health)へ留学
- 1998年 留学を終え帰国、菊池皮膚科医院開業、現在に至る

日本皮膚科学会認定専門医・指導医
日本医師会・日本医学会認定医
医学博士

—アトピー性皮膚炎患者さんに金属アレルギーがあった場合の日常生活の注意点を教えてください。

全身性の金属アレルギーが疑われる場合は、そのほとんどは口の中の金属が原因です。具体的には、金属冠や矯正器具、入れ歯の金具などが疑われます。重要なことは金属を仮に完全に除去できなくても、出来るだけ減らすこと、それも無理なら溶けないように工夫をすることです。歯周病、歯槽膿漏、扁桃腺の腫れ、喫煙など、口腔内の衛生状態が悪い場合には金属は溶けやすくなり、金属アレルギーを起こしやすくなります。そういう人は金属アレルギーのみならず、病巣感染という病態も合併し、尋麻疹なども起こしやすくなります。この症状は、口腔内の衛生環境をきれいにするだけでも改善することもしばしばあります。ですからアトピーの患者さんは口腔内の衛生環境にも日ごろから十分注意を払いましょう。また、食べ物によっては多くの金属が含まれているものもあるので、それらの摂取をできるだけ避けてもらう。コーヒーやお茶を飲みすぎたり、チョコレートをたくさん食べたり、缶コーヒーや缶ジュースなどを多く飲んでいないかなどを細かくチェックし、それらをできるだけ減らす指導もしています。

—最後にアトピー性皮膚炎の患者さんにメッセージをお願いします。

毎日200人前後の患者さんを診察していると思うのは、仮に100人のアトピー患者さんがいれば治療方針も100通りだということです。患者さんの性別、年齢、職業、その他の背景を考慮して一人ひとり治療方針を決めなくてはなりません。すべての病気には何らかの原因があるのだということを覚えておいてください。アトピーにも金属アレルギーにも原因があってその結果が皮膚にでているわけです。それがずっと治らないということは、原因に対する対策が足りていないということ。そこに目を向けていけば必ず良くなります。私が目指しているアトピー治療の目標はIgE値を正常にすることではなく、症状が出た時に病院にいくればすぐに治まる程度の症状にする、学生や社会人の患者さんならば、まわりの他の人となら生活の質に遜色なく、日々を過ごせる状態です。原因を1/10にすれば症状も1/10になります。アトピーには、金属アレルギーがからみ、洗剤にかぶれが重なることも多いのです。もちろんストレスは重要な悪化因子で、精神的な影響も排除していかなくてはなりません。信頼できる主治医を見つけ、今の状況を一緒に考えてもらうことが重要です。魔法の薬はないので、原因対策をきちんと考え、最終的には保湿剤の外用程度で維持していくことができるようになるまで、頑張ってください。

—本日は貴重なお話、ありがとうございました。

「第24回 日本外来小児科学会年次集会」 参加報告

去る8月30日・31日に大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル大阪にて開催されました「第24回 日本外来小児科学会年次集会」(会長:藤岡雅司先生。ふじおか小児科院長)の付設展示会に参加して参りました。今回は小児科の学会という事で、乳幼児・小児に関連した様々な商品を展示し相変わらずの雑貨屋さん。いつも多くのドクター、看護師さんにお越し頂き、少しでも多くの患者さんに届く様ご協賛頂いた商品も全て配布して参りました。今回もダニ取りマットはご協賛品もあり好評で直ぐに配布が終了。またいつもご協賛頂いております水だけコットン(清浄綿)は、授乳時にオッパイを拭く為の物が何故あるの?とのご質問。アトピー患者さんには無添加の汗拭きシートとして重宝する逸品とご説明すると「な〜るほど!」とのご感想も頂きました。その他、赤ちゃん用敷き布団や、やわらかハンカチにふんわりタオル、小児用マスク、保湿クリームなどなど、興味深くご覧頂きました。



ご協賛企業(敬称略)及び展示商品

- 株赤ちゃん本舗：肌もよろこぶシリーズ(肌着)他
- 浅野惣糸株：エアーかおるタオルシリーズ
- アンプロシア株：食物アレルギー検査キット
- 伊野商会：ダニ捕りマット・ダニキャッチボイ
- 自然免疫応用技研株：バントケアシリーズ(保湿剤)
- 株スマイルコットン：やわらかハンカチ
- 株千趣会：ナチュラルックシャワーヘッド
- 大衛株：水だけコットン(清浄綿)
- ダイワボウノイ株：アレルギーキャッチャーマスク
- 西川リビング株：エアースルーDタイプ(ベビー敷布団)
- バイリーンクリエイト株：フルシャットマスク

以上

◆ 東北支援関連情報 ◆

鯨から「バレニン」成分!!

新発見

調査捕鯨で判明! 疲労回復・免疫増強?

昭和30年代以前に生まれた方々には懐かしく、或いは当時食べ飽きて見るのもイヤだったかもしれない鯨肉。今や高級食材の感もありますね。株木の屋石巻水産は鯨肉缶詰などを三陸石巻で取り扱って創業50年。そんな株木の屋石巻水産も震災により工場は全壊し、津波を被った缶詰は泥と一緒に破棄されるどころでした。でも善意の居酒屋さんが引取って下さったり、復興イベントに参加されたりと地道な活動により現在は新工場も建ち、更なる復興を目指されています。世界の一部では批判的な調査捕鯨ですが、その調査があったからこそ判明した新発見「バレニン」成分が今後の話題となりそうです。鯨肉の筋肉中や赤身に含まれる遊離アミノ酸の一種である「バレニン」は、特にナガス鯨・ミンク鯨などに多く含まれるようです。日本人が良く食するマグロやカツオからは検出されない成分の様で日本人としては今さら調査捕鯨反対派が利権からみで賛成されても良い様な悪い様な…。「バレニン」は、ヒトの疲労による副交感神経機能の低下が抑えられ疲労感が改善した事が確認されており、日本人アスリートの試食では、その効果から「ドーピングにならない?」と心配する程の効果を感じた様です。また東京大学(水圏生命科学)の阿部宏喜名誉教授の研究では、細胞保護や再生など多様な効果があるとの事で、疲労防止や回復・抗酸化や活性酸素の除去機能などの働きがあるそうです。ちょっと嗜好品の価格になってしまいますが、お疲れ気味のお父さんには懐かしいビールの友。うまい復興支援にご協力を!

鯨大和煮 7号缶 (235g)
630円(税込)

発売元

株式会社 木の屋石巻水産
〒989-4206 宮城県遠田郡美里町二郷字南八丁2-2
TEL 0120-05-1237
URL <http://kinoya.co.jp/eccube/>



読んでみました!! この書籍!!

みなさんのご参考になれば幸いです。読めば参考になったり、反対に落ち込んだりする事もあるかもしれませんが、頑張っって前向きに捉えて行きましょう。

【タイトル】「笑顔の力」 【著者】浅野 マリ子
【出版社】株幻冬舎ルネッサンス 【定価】本体1,300円 + 税

現在は北里大学薬学部の非常勤講師をされ、病院ボランティアという新しいお立場で患者さんと接しておられます。また後進の育成にも尽力されています。著者は未熟児で生まれ5歳で入院、8歳頃までは学校より病院に通う方が多かったそうで、自然と入院されている患者さんや医師・看護師さんと接する機会も多くなり、母親の看病をしていると看護師長さんから「病院ボランティアになってもらえませんか?」とお声掛けがあり、患者さんとお付き合いが始まったそうです。ご本人も資格も何もない自分が何をすればよいのか、何が出来るのか悩まれたそうですが、書名どおり「笑顔」から始められた様です。横道ですが飛行機のキャビンアテンダントの女性は眉毛を動かす笑顔を手掛けています。殺伐としがちな医療現場に「こころ」を通わせる医療ボランティアの存在。患者さんの笑顔がみられる病院って行ってみたいくなりませんか?



図書館の貸し出しいたします。詳しくはお問い合わせください。

TEL 06-6204-0002 FAX 06-6204-0052

【タイトル】Dr.菊池の金属アレルギー診察室 【著者】菊池 新
【出版社】株東京堂出版 【定価】本体1,800円 + 税

菊池皮膚科医院理事長先生の書籍です。時計にピアスにネックレスという簡単な部分だけではなさそうです。歯医者さんで治療してもらう金属冠が痒さの犯人と疑った方も多いためです。その他にも缶ジュースや缶詰、水道管からの溶出も考えられますね。またお酢(酸)などの料理で鍋などからも金属が溶けやすくなって知らず知らずのうちに摂取している事も。その上、一日中何かを食べていたり、また口腔内に細菌がいたりすると口腔内のpH値が下がり細菌からの酸化物質もあって益々金属類が溶け出しやすい環境になるそうです。勿論体内に取り込まれた金属の大部分は尿や便から排泄されるそうですが血液中に金属量が多いと汗や涙、乳腺などからも排泄されるそうです。今更どうするのって事ですが、最近ではハイブリッドセラミックやジルコニアなどの新しい歯科治療材もある様ですが残念ながら保険外適用のようです。また石酸などに配合されているキレート剤(金属封鎖剤)を飲んでデトックスする「キレーション」という治療法を標榜する所もある様ですが、ちょっと心配ですね。

